

平成30年度
スチューデントコンサルタント認定試験
学生支援相談業務に関する基礎研修講座

受験・受講のご案内

試験日

平成30年9月1日(土)

講座開催日：8月30日(木)・8月31日(金)

申込期間：5月10日(木)～7月10日(火)

「スチューデントコンサルタント認定試験」とは

学生支援相談の重要性に鑑み、大学等における学生支援相談業務を行う上で必要とする知識・能力及び適性等について内閣府認証 特定非営利活動法人 学生文化創造が認定する試験のことです。

「学生支援相談業務に関する基礎研修講座」とは

学生支援相談に関する知識・能力の向上を目的として、大学等を取巻く現状や課題、修学支援、学生のメンタルヘルス、就職支援等多岐にわたる学生支援相談に関するテーマについて、各分野の専門家を講師に迎え専門的な知識や具体的な事例の解説等を行う研修講座です。

「内閣府認証 特定非営利活動法人 学生文化創造」とは

平成18年3月に内閣府の認証を受け発足した特定非営利活動法人です。新しい時代の新しい社会の構築に寄与することを目的とし、将来の日本・国際社会を担う学生に対する学生支援相談事業の充実・強化のために積極的に活動しています。

主催



学生文化創造

Culture Creation for Students

後援：文部科学省／一般社団法人国立大学協会／一般社団法人公立大学協会／日本私立大学協会／
一般社団法人日本私立大学連盟／日本私立短期大学協会

第13回 スチューデントコンサルタント認定試験

学生支援相談に関する知識・能力及び適性等に関する「認定試験」を実施し、その合格者に対して「スチューデントコンサルタント」を認定します。

試験日 平成30年9月1日(土)

申込期間 平成30年5月10日(木)～7月10日(火) 当日消印有効

受験資格 大学・短大等において学生支援業務に携わる者。

受験料 15,000円(再受験料 5,000円)

試験会場 第一会場・東京(定員100名) 国立オリンピック記念青少年総合センター(センター棟)
第二会場・京都(定員20名) 京都大学(吉田キャンパス・本部構内 法経済学部東館)

試験の日程

9月1日(土)			
A班		B班	
8:30	受付	8:30	受付
8:50	注意事項等の説明		
9:00	筆記試験(90分)	9:00	口述試験 グループ面接 (一組60分程度)
		10:00	試験室移動・休憩
		10:10	注意事項等の説明
		10:20	
10:30	試験室移動・休憩		筆記試験(90分)
10:50	口述試験 グループ面接 (一組60分程度)		
11:50	終了	11:50	終了

試験の方法・内容

▽論文試験

論文の内容及び表現等を通じて、学生支援相談業務に取り組む基本的考え方・対応策などの能力及び適性を評価します。事前に提示するテーマについて、本文1,000字以上1,200字程度の論文をメールにて提出していただきます。

1. 論文テーマ等詳細事項は、申込書確認後、受験者にメールにて別途連絡します。
2. 論文を受領した旨をメールにて通知します。この通知が無い場合はご連絡下さい。
3. 論文提出期間 **7月1日(日)～7月31日(火) 必着**
×切厳守：遅延ならびに再提出は、理由の如何にかかわらず認めません。

▽筆記試験 ※選択及び一部記述式

学生支援相談に当たって必要とされる知識及び能力を評価します。

筆記試験の問題の内容は、原則として、「学生支援・相談の基礎と実務」(学生文化創造発行)を中心に出题します。(別紙申込書にてお申込み下さい。)

▽口述試験 ※グループ面接、1組60分程度

質問・応答を通じて学生支援に対する意欲・責任感・コミュニケーション力などの能力及び適性を評価します。

認定者の判定

試験区分ごとの成績に基づいて、チューデントコンサルタントに求められる知識・能力及び適性等を総合的に判定します。

認定者の決定及び結果通知、認定証書・認定証（カード）の交付

平成30年10月中旬までに、受験者全員に結果通知及び、認定者にはチューデントコンサルタント認定証書・認定証（カード）を送付します。

認定者決定についての電話・メール等での問い合わせには応じられません。

再受験者の取り扱い

認定試験受験者のうち、文書により試験区分の一区分又は複数区分について不十分である旨の評価通知を受けた者については、通知（初回受験の通知に限る）を受けた日から5年間に限って、文書で通知された試験区分（一区分又は複数区分）のみを受験対象（再受験）とすることができます。

テキスト（学生文化創造発行）

「学生支援・相談の基礎と実務」（定価 5,400円）

受講または受験と併せてご注文の場合 特価 4,000円 テキストのみご注文の場合 4,500円

※別紙「試験・講座」の申込書にてご注文ください。

第13回 学生支援相談業務に関する基礎研修講座

各分野の専門家が学生支援相談の現状や課題について解説します。認定試験の受験希望者の他、日常的に学生支援業務を行っている方々に、学生支援相談に関する知識の修得・能力向上のため、是非、受講することをお勧めします。

開催日 平成30年8月30日（木）・8月31日（金）

申込期間 平成30年5月10日（木）～7月10日（火）当日消印有効

受講資格 大学・短大等において学生支援業務に携わる者。

受講料 7,000円

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター ※東京会場のみ開催しています（定員100名）。

講座の日程（カリキュラム）

*講師・発表者の所属機関・役職等は、2018年3月現在のものです。

8月30日（木）	8月31日（金）
12:50～13:00 開講式	9:30～12:00
13:00～14:30 ◆高等教育の動向と改革の視点 講師 桜美林大学大学院部長 大学アドミニストレーション研究科長 教授 山本 真一	◆学生のメンタルヘルスの現状と課題 講師 首都大学東京学生サポートセンター 教授 村松 健司
14:30～17:00 ◆就職支援とキャリア教育の課題 講師 法政大学キャリアデザイン学部 教授 上西 充子	13:00～15:00 ◆大学の地域貢献・連携の現状と課題 講師 長野大学地域づくり総合センター長 環境ツーリズム学部 学部長 古田 睦美
17:00～17:30 ◆チューデントコンサルタント認定者による報告 報告者 東京大学教養学部等事務部 学生支援課 学生支援係 佐藤 寛也	15:00～17:00 ◆多様な学生と学生支援の課題 講師 徳島文理大学総合政策学部 教授 青野 透
18:00～19:30 情報交換会（任意参加）	17:00～17:10 閉講式

※基礎研修講座では、「学生支援・相談の基礎と実務」（学生文化創造発行）を参考資料として使用する場合があります。なお、受講者には、修了証明書を発行します。（9割以上の受講要）

受験・受講者の声（平成29年度アンケート調査結果より抜粋）

講義内容について

☞最新のデータや法改正についてなど、大学職員として知っていなければならない知識を得ることができた。

☞数字に基づいた説明があり、これまで自身が想像していた対応（学生支援）とは異なる観点が必要だと考えました。様々な学生がいるということを念頭に丁寧に傾聴する姿勢が大切であることが分かりました。

☞学生支援に関する基本的ルール、傾向等を学ぶ事ができました。今後この学びを生かすために個人がどの様に行動を起こすのが重要であることを再認識できました。

☞障害学生支援の情報公開の重要性や組織として取り組むべきことが分かりました。

☞専門的な講義を受け、自ら考える基礎となる力を身につけることで、学び続けることの大切さを認識した。グループワークで様々な人々と意見交換しあってこそ考え続ける探求心が深まると思います。

グループワークについて

☞グループワークを通じて、様々な事例を知ることができ、また講座で学生支援に関する体系的な知識を得られたので、今後の学生対応の際に、悩みながら対応することが減るのではないかと思います。

☞グループワークも多く、様々な人から意見を聞くことができた。特に各大学が行っている事例が参考になった。

☞自分で考えたり、他の参加者と意見を共有する時間がもう少しほしい。

☞普段接点のない国公立大学の方々とお話ができて大変貴重な経験になりました。

☞様々な部署の方が集まり、国公立が同じ場で研修を受ける機会が初めてだったので、このような機会を今後も提供していただければうれしい。

講義後の活用について

☞今回の講座で得た情報を関係部署で共有し、今後の本学における学生支援に役立てていきたい。

☞今、携わっていない業務などを知る機会となり、今後の学生支援において参考となった。

講座参加に伴う受講料・交通費の負担について

受講料は	職場から全額支給	81.9%
	職場から一部支給	2.4%
	自己負担	15.7%

交通費は	職場から全額支給	84.3%
	職場から一部支給	1.2%
	自己負担	14.5%

試験受験に伴う受験料・交通費の負担について

受験料は	大学負担	77.4%
	自己負担	22.6%

交通費は	大学負担	79.8%
	自己負担	20.2%

筆記試験の内容について

適当であったと思う	69.8%
全体的に内容が難しかった	16.3%
設問数は適当であったと思う	4.6%
回答時間に対して設問数が多すぎると思う	5.8%
その他	3.5%

受験後の感想について

☞受験にあたり、学生支援について体系的に学ぶ良い機会になりました。

☞自らの足りない知識がよく理解でき、自身の今後の改善点がよく分かりました。

☞久しぶりに試験ということで緊張感をもって参加することができました。よい刺激を受け、学生支援に活かせると思いました。

☞口述試験のテーマは担当業務の分野ではなかったが、学生支援の一環として考えれば、部署間の連携を考えるよい機会となった。

☞自分のキャリア、仕事内容について考えるきっかけになりました。

☞このようなスキルアップの認定試験はモチベーションアップにもつながるので、継続実施してほしい。

☞認知度を上げて欲しい。

お問合せ・申込先（※下記まで申込書をご送付ください。）

内閣府認証 特定非営利活動法人 学生文化創造

〒163-1516 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー16階

TEL: 03-6890-1730 FAX: 03-3344-3229

受付時間: 土・日・祝祭日を除く毎日10:00~17:00

E-mail: tokyo@gakusei-bunka.org <http://www.gakusei-bunka.org/>

※受験に際して特別措置を希望する場合は、事前に申し出てください。